



③〇 高等学校 商業科問題の解答について (注意)

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。(マークシート右上の記入方法を参照) 消去は、プラスチックの消しゴムで念入りに行うこと。
4. 名前の記入 名前を記入すること。
5. 教科名の記入 教科名に「商業科」と記入すること。
6. 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
7. 解答の記入
 - ア. 小問の解答番号は1から75までの通し番号になっており、例えば、25番を

| |
|----|
| 25 |
|----|

 のように表示してある。
 - イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
 - ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
 - エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

(マークシート記入例)

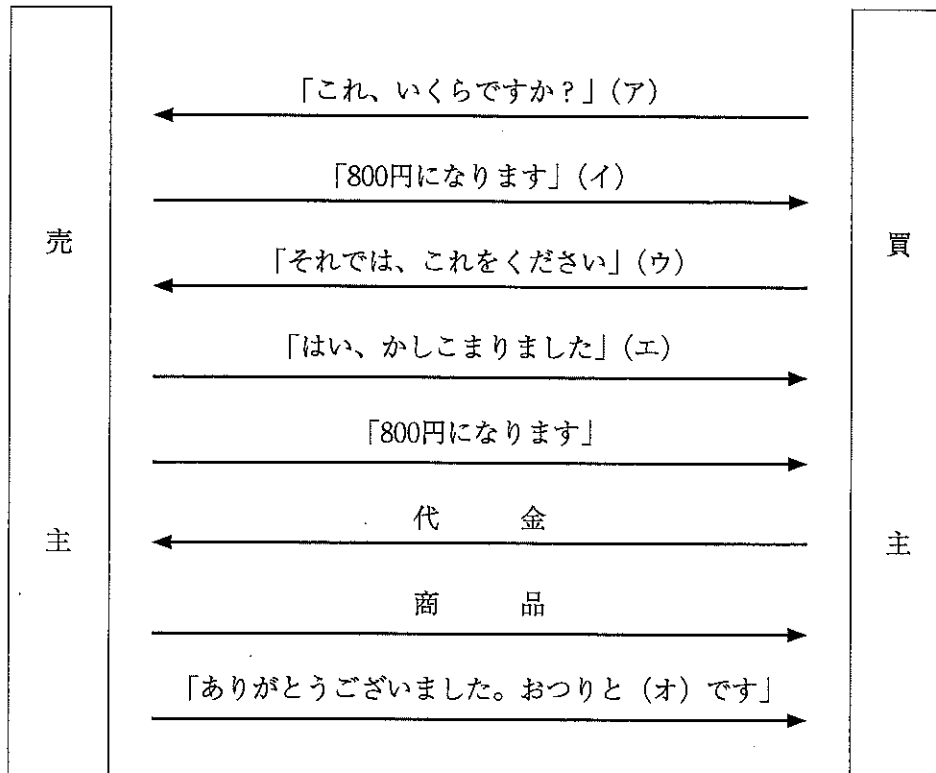
| | | | |
|------|--------|-----|-----|
| フリガナ | ユウベクロー | | |
| 名前 | 神戸太郎 | 教科名 | 商業科 |

数字で記入……

| 受験番号 | | | | | 小問番号 | 解答記入欄 | 小問番号 | 解答記入欄 | 小問番号 | 解答 |
|------|---|---|---|---|------|---------------------|------|---------------------|------|---------|
| | | | | | | 1 - 25 | | 26 - 50 | | 51 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 0 | 1 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 26 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 51 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 27 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 52 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 28 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 53 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 29 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 54 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 30 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 55 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 31 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 56 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 32 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 57 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 33 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 58 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 34 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 59 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 35 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 60 | 0 0 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 36 | 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 61 | 0 0 0 0 |

【1】 売買取引に関する次の問いに答えよ。

(1) 下の『取引における会話の流れ』の図を見て、書類の流れを考え、あてはまる書類の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。



- | | | | | | |
|---|---------|---------|--------|--------|---------|
| ① | ア 見積書 | イ 見積依頼書 | ウ 注文書 | エ 注文請書 | オ 商品受領書 |
| ② | ア 見積書 | イ 見積依頼書 | ウ 注文請書 | エ 注文書 | オ 領収書 |
| ③ | ア 見積依頼書 | イ 見積書 | ウ 注文請書 | エ 注文書 | オ 商品受領書 |
| ④ | ア 見積依頼書 | イ 見積書 | ウ 注文書 | エ 注文請書 | オ 領収書 |
| ⑤ | ア 見積依頼書 | イ 見積書 | ウ 注文書 | エ 注文請書 | オ 商品受領書 |

(1) 1

(2) 買主が、注文した商品について品違いや数量の過不足がないかを検査することを何というか、①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 棚卸し ② 検収 ③ 領収 ④ 検疫 ⑤ 精査

(2) 2

(3) 船積み港で商品を本船に積み込むまでの費用を売り手が負担する条件の価格を何というか、①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 持込価格 ② C I F 価格 ③ 現場渡し価格 ④ F O B 価格 ⑤ 諸掛込み価格

| | |
|-----|---|
| (3) | 3 |
|-----|---|

(4) 政府発行貨幣は、硬貨で、その法定通用限度は1回の取引につき、それぞれの額面金額の何倍までか、①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 5倍 ② 10倍 ③ 20倍 ④ 30倍 ⑤ 限度はない

| | |
|-----|---|
| (4) | 4 |
|-----|---|

(5) 買い物をしたりサービスを受けたりしたとき、既存の銀行のキャッシュカードを利用して即時決済を可能にする支払い手段を何というか、①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① クレジットカード ② キャッシュカード ③ プリペイドカード ④ デビットカード
⑤ ポイントカード

| | |
|-----|---|
| (5) | 5 |
|-----|---|

(6) コンビニエンスストアなどで、商品からバーコードを読み取ると、売上金額だけでなく在庫管理や売れ筋商品などの情報を管理できるシステムを何というか、①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① I C T ② S P A ③ E D I ④ B O P ⑤ P O S

| | |
|-----|---|
| (6) | 6 |
|-----|---|

(7) 次の税のうち、直接税と間接税が正しく分類されているものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

| 番号 | 直 接 税 | 間 接 税 |
|----|-----------------------|-------------------|
| ① | 消費税・所得税・法人税・相続税 | 印紙税・たばこ税・固定資産税 |
| ② | 所得税・法人税・相続税・固定資産税 | 印紙税・たばこ税・消費税 |
| ③ | 印紙税・たばこ税・消費税 | 所得税・法人税・相続税・固定資産税 |
| ④ | 所得税・法人税・固定資産税 | 印紙税・たばこ税・消費税・相続税 |
| ⑤ | 所得税・法人税・相続税・固定資産税・印紙税 | たばこ税・消費税 |

| | |
|-----|---|
| (7) | 7 |
|-----|---|

(8) 企業の経営組織における中間管理者と呼ばれる役職にあたるのは次のうちどれか、①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 監査役 ② 係長 ③ 部長 ④ 常務 ⑤ 主任

| | |
|-----|---|
| (8) | 8 |
|-----|---|

(9) 次の『監査』について書かれた文を読み、(ア)～(オ)にあてはまる正しい語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

大会社と規定される株式会社では、取締役の業務に対する監査の仕組みに三つのタイプがある。第一は、取締役の業務監査を（ア）がおこなう（イ）、第二は、監査・指名・報酬の三つの委員会を設置し、当該会社に籍を置かない（ウ）が中心になって、これらの委員会を通じて取締役の業務を監査する（エ）、第三は、両者の中間タイプで、主に社外取締役が監査等委員会を通じて取締役の業務を監査する（オ）である。

- ① ア 監査役会 イ 監査役会設置会社 ウ 社内取締役 エ 監査役会等設置会社 オ 指名委員会等設置会社
② ア 取締役会 イ 取締役会設置会社 ウ 社内取締役 エ 指名委員会等設置会社 オ 監査等委員会設置会社
③ ア 監査役会 イ 監査役会設置会社 ウ 社外取締役 エ 指名委員会等設置会社 オ 監査等委員会設置会社
④ ア 株主総会 イ 株主総会設置会社 ウ 株主の代表 エ 指名委員会等設置会社 オ 株主総会等設置会社
⑤ ア 取締役会 イ 取締役会設置会社 ウ 社外取締役 エ 指名委員会等設置会社 オ 監査等委員会設置会社

| | |
|-----|---|
| (9) | 9 |
|-----|---|

(10) 大会社と規定される株式会社は次のうちどれか、①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 資本金5億円以上、または負債総額200億円以上の会社
② 資本金3億円以上、または負債総額10億円以上の会社
③ 資本金1億円以上、または負債総額100億円以上の会社
④ 資本金1千万円以上の会社
⑤ 資本金1億円以上で負債がない会社

| | |
|------|----|
| (10) | 10 |
|------|----|

【2】マーケティングに関する次の問いに答えよ。

(1) 『導入期のマーケティングの展開』について、次の文にあてはまる価格政策を①～⑥から選び、番号で答えよ。

- (11) 価格政策・・・当初は高価格で販売し、その後、徐々に販売価格を低くして、それぞれの販売価格で需要に応じて売上高を伸ばす戦略である。
- (12) 価格政策・・・新製品の販売にあたり、極端に低い販売価格で販売し、需要の急速な拡大を狙う戦略である。

- ① 穏やかな浸透 ② 二段階制 ③ 浸透 ④ プレミアム ⑤ 穏やかな上澄み吸収
⑥ 上澄み吸収

| | | |
|-----|----|----|
| (1) | 11 | 12 |
|-----|----|----|

(2) 『成長期のマーケティングの展開』について、次の文の(ア)～(オ)にあてはまる適切な語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

成長期の特徴は、特にその初期段階では、(ア)が急激に伸びる点にある。これは、導入期で行った(イ)の効果があらわれ、製品が多くの消費者に認知されて、販売が急激に増加することを意味する。この結果、(ウ)が可能になり、一般に(エ)が低下する。成長期には、新たな(オ)が出現する場合が多い。そのため、新たな(オ)に対応するためのマーケティングを考える必要がある。

- ① ア 売 上 イ 商品開発 ウ 個別生産 エ 仕入価格 オ マーケット
② ア 仕 入 イ 商品開発 ウ 大量生産 エ 販売価格 オ 競合他社
③ ア 売 上 イ プロモーション ウ 大量生産 エ 仕入価格 オ マーケット
④ ア 仕 入 イ プロモーション ウ 個別生産 エ 仕入価格 オ 競合他社
⑤ ア 売 上 イ プロモーション ウ 大量生産 エ 販売価格 オ 競合他社

| | |
|-----|----|
| (2) | 13 |
|-----|----|

(3) 『成熟期のマーケティングの展開』について、次の文の（ア）～（オ）にあてはまる適切な語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

成熟期には確実に収益が上昇する。その後は、徐々に販売量が減少し、収益が低下していく。これは、新規の（ア）が減少していることに加え、競合他社との競争の激化や（イ）の出現による影響などがある。この時期は、収益を低下させない努力が必要となり、次のような展開が考えられる。

- 1)（ウ）の修正
- 2)（エ）の増加
- 3)ユーザー一人あたりの（オ）の増加
- 4)製品の修正

- | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---------|---|------|---|---------|----------|------|------|
| ① | ア | 顧 | 客 | イ | 代替品 | ウ | 市 | 場 | エ | ブランドユーザー | オ | 使用量 |
| ② | ア | 顧 | 客 | イ | 取扱商品 | ウ | 商品計画 | エ | エンドユーザー | オ | 購買金額 | |
| ③ | ア | 売 | 上 | イ | 新規参入事業者 | ウ | 市 | 場 | エ | ブランドユーザー | オ | 使用量 |
| ④ | ア | 売 | 上 | イ | 代替品 | ウ | 商品計画 | エ | エンドユーザー | オ | 購買金額 | |
| ⑤ | ア | 売 | 上 | イ | 新規参入事業者 | ウ | 市 | 場 | エ | ブランドユーザー | オ | 購買金額 |

| | |
|-----|----|
| (3) | 14 |
|-----|----|

(4) 『衰退期のマーケティングの展開』と『衰退期終了後』について、次の各文の中から正しいものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 売り上げが徐々に低下するが、利益率は変化しない。プロモーションなどに経費をかけ、商品開発やプロモーションへの投資を行う。また衰退期が終了しても、マーケティングの展開は終了しない。顧客に対しての製品の保証やサービスの提供が必要となってくる。これは幅広い利害関係者に配慮が必要なことと、充実したアフターサービスは、新製品に向けての顧客の維持につながるためである。
- ② 売り上げが徐々に低下し、利益率も低下するので、プロモーションなどの経費を抑え、商品開発やプロモーションへの投資も抑制する。場合によっては、損失が生じる前に市場から速やかに撤退する手段を取る必要もある。また、衰退期が終了すれば、速やかにマーケティングの展開を終了する。顧客に対しての製品の保証やサービスの提供が必要だが、アフターサービスは、新製品に向けて、妨げになることがある。
- ③ 売り上げは低いが、しばらくは横ばいの状態が続く。そのため、プロモーションなどの経費をかけ、新たな商品開発やプロモーションに力を入れて、商品の再販売に力を注ぐ。場合によっては、TVC Mなど派手なプロモーションを行う必要もある。また 衰退期が終了したと考えられる場合でも、商品の人気に再び火がつくことがあるので、充実したアフターサービスを行う。
- ④ 売り上げが徐々に低下し、利益率も低下するので、プロモーションなどの経費を抑え、商品開発やプロモーションへの投資も抑制する。場合によっては、損失が生じる前に市場から速やかに撤退する手段を取る必要もある。また、衰退期が終了しても、マーケティングの展開は終了しない。顧客に対しての製品の保証やサービスの提供が必要となってくる。これは幅広い利害関係者に配慮が必要なことと、充実したアフターサービスは、新製品に向けての顧客の維持につながるためである。
- ⑤ 売り上げが徐々に低下し、利益率も低下するが、プロモーションなどの経費をかけ、商品開発やプロモーションへの投資を継続して行う。損失が生じる時に市場から速やかに撤退する手段を取る。また、衰退期が終了しても、マーケティングの展開は終了しない。顧客に対しての製品の保証やサービスの提供が必要となってくる。これは幅広い利害関係者に配慮が必要なことと、充実したアフターサービスは、新製品に向けての顧客の維持につながるためである。

| | |
|-----|----|
| (4) | 15 |
|-----|----|

【3】 次の (ア)～(オ) の文にあてはまる知的財産権の名称を①～⑨から選び、番号で答えよ。

- (ア)・・・物品の形状、構造または組み合わせを従来のものかえることで技術的效果が生まれてくる考案をし、特許庁で登録を受けた者に認められる権利である。
- (イ)・・・物品の形状、模様、色彩またはその結合を従来のものかえることによって美感を起こさせる創作をし、その施すべき物品を指定して特許庁で登録を受けた者に認められる権利である。
- (ウ)・・・事業者が生産、証明または譲渡する商品、または提供、証明する役務（サービス）に使用するマークで、識別性のあるものを採用し、それを付する商品や役務を指定して、特許庁で登録を受けた者に認められる権利である。
- (エ)・・・商人が営業上、事実上の活動で自己を表章する名称で、おもに商法・会社法により規制されており、不正競争防止法によっても保護されている。
- (オ)・・・著作物を公衆に伝達する媒体としての実演、レコード、放送、有線放送に関して、実演家、レコード製作者、有線放送事業者に認められる権利である。

- ① 実用新案権 ② 著作隣接権 ③ 商標権 ④ 商号権 ⑤ 育成者権
⑥ 著作権 ⑦ 意匠権 ⑧ 特許権 ⑨ 著作者人格権

| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | (オ) |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |

【4】 次の計算をおこない、正しい答えを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(1) ¥100,000は、何ポンド何ペンスか。ただし、£1 = ¥175とする。(ペンス未満4捨5入)

- ① £571.40 ② £571.42 ③ £571.43 ④ £571.44 ⑤ £571.45

(2) 6月18日満期、額面¥2,700,000の為替手形を4月11日に割引率年2.35%で割り引くと、割引料はいくらか。(両端入れ、円未満切り捨て)

- ① ¥11,994 ② ¥11,995 ③ ¥11,996 ④ ¥2,688,004 ⑤ ¥2,688,005

(3) ある商品を¥310,000で仕入れ、諸掛り¥23,000を支払った。この商品に諸掛込原価の35%の利益をみて定価をつけたが、値引きして¥332,667で販売した。値引額は定価の何パーセントであったか。

- ① 73% ② 28% ③ 27% ④ 26% ⑤ 25%

(4) 次の資料から、売上原価率を求めよ。(パーセントの小数第1位未満4捨5入)

売上高 ¥46,791,000

仕入高 ¥27,350,000 期首商品棚卸高 ¥1,487,000 期末商品棚卸高 ¥3,128,000

- ① 46.1% ② 54.4% ③ 54.9% ④ 55.0% ⑤ 58.1%

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| (1) | (2) | (3) | (4) |
| 21 | 22 | 23 | 24 |

【5】 次の文を読んで、下の問いに答えよ。

個々の商品に利益を見込んで売り上げていても、商品を製造するには固定費がかかっており、赤字からのスタートとなる。それでは、いくら売り上げれば元が取れるのだろうか。その金額を把握することは企業にとって重要なことである。そこで、企業では、損失がなくなり、利益が出てくる時点を明らかにするため、(ア) を行う。(ア) を行うためには、固定費は会計期間の費用として処理し、変動費だけで製品の原価を集計する。この原価計算を (イ) という。

例えば、売上高¥3,000,000、変動費¥2,100,000、固定費¥600,000の時、営業利益は (ウ) となる。また、目標利益¥900,000を達成しようとした時の売上高は (エ) となる。

(1) (ア) にあてはまる適切な語句を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 財務諸表分析 ② CVP分析 ③ ABC分析 ④ SWOT分析 ⑤ 回帰分析

(2) (イ) にあてはまる適切な語句を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 標準原価計算 ② 個別原価計算 ③ 総合原価計算 ④ 全部原価計算
⑤ 直接原価計算

(3) (ウ) にあてはまる適切な金額を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ¥300,000 ② ¥600,000 ③ ¥900,000 ④ ¥2,000,000 ⑤ ¥2,400,000

(4) (エ) にあてはまる適切な金額を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ¥3,500,000 ② ¥3,900,000 ③ ¥4,500,000 ④ ¥5,000,000 ⑤ ¥6,800,000

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| (1) | (2) | (3) | (4) |
| 25 | 26 | 27 | 28 |

【6】 次の〇〇商事株式会社の総勘定元帳勘定残高（抜粋）と未処理事項および決算整理事項について、下の問いに答えよ。なお、語群のない問いは、マークシートの①～④のうち、適切な数字をマークすること。

元帳勘定残高（抜粋）

| | | | | | | | |
|------|----------|------|---------|-----|---------|-------|--------|
| 現金 | ¥ 69,000 | 受取手形 | ¥ 3,500 | 売掛金 | ¥ 3,920 | 貸倒引当金 | ¥ 36 |
| 繰越商品 | 3,700 | 仮受金 | 120 | 社債 | 5,976 | 売上 | 24,000 |
| 仕入 | 17,876 | 社債利息 | 8 | | | | |

未処理事項および決算整理事項

a △△商店からの商品代金¥700を約束手形で受け取った際、誤って小切手を受け取ったように処理していたのでこれを訂正する。

b 仮受金は□□商店に対する売掛金¥120の回収額であることが判明した。

c 期末商品棚卸高

帳簿棚卸数量 100個 原 価 @¥40

実地棚卸数量 92個 正味売却価額 @¥38

ただし、① 正味売却価額の下落による商品評価損は、売上原価の内訳科目とする。

② 棚卸減耗のうち6個は原価性があり売上原価の内訳科目とする。

残りは原価性がないので、営業外費用とする。

d 貸倒見積額

受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ1%と見積もり、貸倒引当金を設定する。

e 社債評価額

次の社債について、償却原価法（定額法）によって評価する。

額面総額 ¥6,000 払込金額¥100につき¥98 償還期限 10年

損 益 計 算 書（一部）

〇〇商事株式会社 平成〇1年4月1日から平成〇2年3月31日まで （単位：円）

| | | |
|------------|---------------|---------------------|
| I 売上高 | | 24,000 |
| II 売上原価 | | |
| 1. 期首商品棚卸高 | 3,700 | |
| 2. 当期商品仕入高 | <u>17,876</u> | |
| 合 計 | 21,576 | |
| 3. 期末商品棚卸高 | (各自計算) | |
| | (各自計算) | |
| 4. 棚卸減耗費 | (各自計算) | |
| 5. 商品評価損 | (各自計算) | <u>(29,300.000)</u> |
| 売上総利益 | | (各自計算) |

(1) 売上原価は¥

| | |
|----|----|
| 29 | 30 |
|----|----|

,000である。適切な各位の数字をマークシートにマークせよ。

| | | |
|-----|----|----|
| (1) | 29 | 30 |
|-----|----|----|

(2) 売上高総利益率は、何パーセントとなるか、①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 23% ② 24% ③ 25% ④ 26% ⑤ 27%

| | |
|-----|----|
| (2) | 31 |
|-----|----|

(3) 損益計算書に記載される「貸倒引当金繰入」の金額はいくらか、①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ¥44 ② ¥66 ③ ¥74 ④ ¥81 ⑤ ¥82

| | |
|-----|----|
| (3) | 32 |
|-----|----|

(4) 貸借対照表に記載される「貸倒引当金」の設定は企業会計原則のどの原則によるものか、①～⑧から選び、番号で答えよ。

- ① 真実性の原則 ② 正規の簿記の原則 ③ 資本取引・損益取引区別の原則
④ 明瞭性の原則 ⑤ 継続性の原則 ⑥ 保守主義の原則
⑦ 単一性の原則 ⑧ 重要性の原則

| | |
|-----|----|
| (4) | 33 |
|-----|----|

(5) 受取勘定の回収速度を判断する受取勘定回転率（売上債権回転率）は約何回転となるか、該当する数字をマークシートにマークせよ。なお、受取勘定（売上債権）は期末残高を利用して計算し、受取勘定回転率は、整数未満を4捨5入して求めること。

| | |
|-----|----|
| (5) | 34 |
|-----|----|

(6) 貸借対照表に記載される「商品」の金額はいくらか、①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ¥3,496 ② ¥3,572 ③ ¥3,760 ④ ¥3,800 ⑤ ¥4,000

| | |
|-----|----|
| (6) | 35 |
|-----|----|

(7) 貸借対照表に記載される「社債」の金額はいくらか、①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ¥5,880 ② ¥5,964 ③ ¥5,976 ④ ¥5,988 ⑤ ¥6,000

| | |
|-----|----|
| (7) | 36 |
|-----|----|

【7】 ●●製作所では実際原価により、個々の製品ごとに製造原価を集計する方法を採用している。次の資料を見て、下の問いに答えよ。なお、語群のない問いは、マークシートの①～⑤のうち、適切な数字をマークすること。

資 料

1. 各製造指図書に関するデータ

| 製造指図書 | 直接材料費 | 直接労務費 | 直接作業時間 | 備 考 | | |
|---------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| | | | | 製造着手日 | 完成日 | 引渡日 |
| No.K-01 | ¥72 | ¥70 | 14時間 | 6月4日 | 6月18日 | 7月5日 |
| No.K-02 | | | | 6月16日 | 7月11日 | 7月13日 |
| 6月 | ¥36 | ¥30 | 6時間 | | | |
| 7月 | ¥65 | ¥65 | 13時間 | | | |
| No.K-03 | ¥127 | ¥20 | 4時間 | 7月12日 | 未完成 | |
| No.K-04 | 各自計算 | ¥100 | 20時間 | 7月18日 | 7月29日 | 未渡し |

2. 製造間接費は直接作業時間あたり¥8の配賦率で、各製造指図書に配賦した。
 3. 直接材料の当月の増減は、次のとおりである。なお、消費価額は先入先出法を用いて計算している。
 月初在庫量 10kg @ ¥2 当月購入費 140kg @ ¥3 月末在庫量 5kg

(1) ●●製作所は、どの原価計算を採用しているか、①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 標準原価計算 ② 総合原価計算 ③ 部門別原価計算
 ④ 個別原価計算 ⑤ 直接原価計算

(1) 37

(2) 当月直接材料費は¥ 38 39 5になり、製造間接費は¥ 40 41 6となる。適切な各位の数字をマークシートにマークせよ。

(2) 38 39 40 41

(3) 月末仕掛品原価は、製造指図書No. 42 である。42 にあてはまる適切な語句を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① K-01 ② K-02 6月 ③ K-02 7月 ④ K-03 ⑤ K-04

(3) 42

(4) 月末仕掛品原価は¥ 1 43 44 となる。適切な各位の数字をマークシートにマークせよ。

(4) 43 44

(5) 当月完成品原価は、製造指図書No.45である。45にあてはまる適切な語句を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① K-01とK-02 ② K-01とK-03 ③ K-01とK-04
④ K-02とK-03 ⑤ K-02とK-04

| | |
|-----|----|
| (5) | 45 |
|-----|----|

(6) 当月完成品原価は、¥ 46 47 1 となる。適切な各位の数字をマークシートにマークせよ。

| | | |
|-----|----|----|
| (6) | 46 | 47 |
|-----|----|----|

(7) 当月売上原価は、製造指図書No.48である。48にあてはまる適切な語句を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① K-01とK-02 ② K-01とK-03 ③ K-01とK-04
④ K-02とK-03 ⑤ K-02とK-04

| | |
|-----|----|
| (7) | 48 |
|-----|----|

(8) 当月売上原価は、¥ 6 49 50 となる。適切な各位の数字をマークシートにマークせよ。

| | | |
|-----|----|----|
| (8) | 49 | 50 |
|-----|----|----|

【8】 次の説明文 (ア)～(オ) について、a・bともに正しい場合は①、aが正しくbが誤りの場合は②、aが誤りでbが正しい場合は③、a・bともに誤りの場合は④と番号で答えよ。

(ア)

- a サーバやソフトウェアなど、コンピュータシステムに必要な機能を、インターネットなどのネットワークを通じ、必要に応じて利用する方法をクラウドコンピューティングという。企業などの施設内に、サーバや必要なソフトウェアなどを導入して運用・管理するかわりに、クラウドコンピューティングのサービスを行う企業などに、サービスの利用料金を支払うことによって、必要最小限の設備投資で、さまざまなコンピュータシステムを利用することができる。
- b インターネットなどの情報通信ネットワークを利用して、商取引の契約や代金の決済などを行うことを電子商取引 (EC) といい、B to B、B to C、C to Cの三つに分けられる。このうち、インターネットショッピングなど企業と消費者との間で行われる取引が、B to Bである。

(イ)

- a 五大装置の一つである主記憶装置は、各装置との動作タイミングを合わせるため、正確な周期で電圧の「高」「低」を繰り返す信号を発生させている。この信号をクロック信号とよび、1秒間に何回繰り返されるかをクロック周波数という。
- b ディスプレイ画面上の画素の一つひとつは、光の三原色といわれるRGBの3色で構成されており、この3色の組み合わせで、画像の色彩を表現している。

(ウ)

- a ソフトウェア開発モデルの一つで、利用者に早い段階で試作品を提供し、利用者の評価をもとに順次変更しながら開発を進めていくスパイラルモデルは、小規模システムの開発に適している。
- b プログラムの実行結果に誤りがあった場合に、その不具合を見つけて、修正をおこなう作業をコーディングという。

(エ)

- a OSには、ファイルやフォルダの検索機能がある。ファイル名やフォルダ名で検索するには、名前をすべて指定する方法と名前の一部を指定する方法がある。名前の一部を指定する場合には、「?」や「*」のワイルドカードを用いて、検索することができる。
- b コンピュータシステムの性能を評価する基準の一つにレスポンスタイムがある。これは、コンピュータシステムによって単位時間あたりに処理される仕事量をいい、処理されたジョブ数やデータ量であらわされる。

(オ)

- a データベースの論理設計において、実際に利用するDBMSに合わせて最適な表構成を設計するために、重複するデータの無駄をなくして、より単純な表関係にすることを正規化という。
- b コンピュータシステムの信頼性を高める考え方の一つで、人間のミスによる障害の発生を防止するため、誤操作をおこさないような設計や、もしミスをしたとしても重大な障害がおこらないように設計する

考え方を、フルプルーフという。例えば、電子レンジがドアを開いた状態では加熱をしないように作られているのは、この考え方による。

| | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | (オ) |
| 51 | 52 | 53 | 54 | 55 |

【9】 基数変換に関する次の表の (ア)～(ウ) にあてはまる適切な答えを①～⑥から選び、番号で答えよ。

| 10進数 | 2進数 | 8進数 | 16進数 |
|------|------|------|------|
| 28 | (ア) | 解答不要 | (イ) |
| (ウ) | 解答不要 | 17 | 解答不要 |

(ア) ① 10111 ② 10101 ③ 10011 ④ 11011 ⑤ 11100 ⑥ 11101

(イ) ① 1A ② 1B ③ 1C ④ 12 ⑤ 121 ⑥ 112

(ウ) ① 14 ② 15 ③ 16 ④ 21 ⑤ 22 ⑥ 23

| | | |
|-----|-----|-----|
| (ア) | (イ) | (ウ) |
| 56 | 57 | 58 |

【10】 疑似言語プログラムに関する各仕様説明を読んで、下の問いに答えよ。

[疑似言語プログラムに共通する宣言、注釈および処理に関する説明]

| 記述形式 | 説明 |
|----------------------------|---|
| ○ | 手続、変数などの名前、型などを宣言する。 |
| /* 文 */ | 文に注釈を記述する。 |
| ・変数 ← 文 | 変数に式の値を代入する。 |
| ・手続 (引数, ...) | 手続を呼び出し、引数を受け渡す。 |
| ↑ 条件式 ↓ 処理 | 単岐選択処理を示す。 条件式が真のときは処理を実行する。 |
| ↑ 条件式 ↓ 処理 1 ↓ 処理 2 | 双岐選択処理を示す。 条件式が真のときは処理 1 を実行し、偽のときは処理 2 を実行する。 |
| ↑ 条件式 ↓ 処理 | 前判定繰返しを処理を示す。 条件式が真のときは処理を繰返し実行する。 |
| ↑ 変数: 初期値, 条件式, 増分 ↓ 処理 | 繰返し処理を示す。 開始時点で変数に初期値 (式で与えられる) が格納され、 条件式が真の間、処理を繰返す。また、繰返すごとに、 変数に増分 (式で与えられる) を加える。 |

[疑似言語プログラムに共通する演算子と優先順位に関する説明]

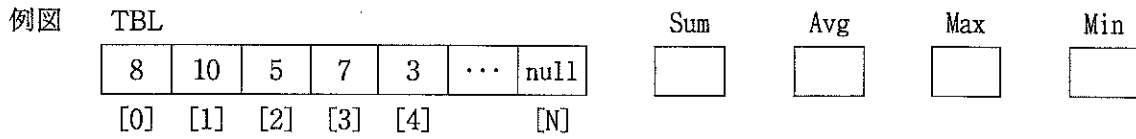
| 演算の種類 | 演算子 | 優先順位 |
|-------|------------------|------------------|
| 単項演算 | +, -, not | 高 ↑ ↓ 低 |
| 乗除演算 | ×, ÷, % | |
| 加減演算 | +, - | |
| 関係演算 | >, <, ≥, ≤, =, ≠ | |
| 論理積 | and | |
| 論理和 | or | |

(注) 整数同士の除算では、整数の商を結果として返す。%演算子は剰余算を表す。

例図のような1次元配列TBLに格納された整数値(1~最大2桁の整数の範囲)の中から、合計値、平均値、最大値、最小値を求めて出力する処理のプログラムである。

59 ~ 63 にあてはまる最も適切な答えを①~④から選び、番号で答えよ。

ただし、配列の末尾にはnull値が格納されており、整数値が格納されている要素数は分からない。



[プログラム]

```

1 ○ 整数型 : i, j, Cnt, Sum, Avg, Max, Min
2 ○ 整数型 : TBL[] /*添字は0から始まる*/
3   · Sum ← 0
4   · i ← 0
5   · Cnt ← 1
6   ┆ TBL[i] ≠ null
7   ┆   ┆ 59
8   ┆   ┆ 60
9   ┆   · Cnt ← Cnt + 1
10  ┆
11  ┆ 61
12  · Max ← 0
13  · Min ← TBL[0]
14  · j ← 0
15  ┆ 62
16  ┆   ┆ Max < TBL[j]
17  ┆   ┆   · Max ← TBL[j]
18  ┆   ┆
19  ┆   ┆ Min > TBL[j]
20  ┆   ┆   · Min ← TBL[j]
21  ┆   ┆
22  ┆   ┆ 63
23  ┆
24  · Avg ← Sum ÷ Cnt
25  · Sum, Avg, Max, Minを出力

```

59 60 63

- ① $i \leftarrow i + 1$ ② $i \leftarrow i - 1$ ③ $i \leftarrow i + \text{Cnt}$ ④ $j \leftarrow j + \text{Cnt}$
- ⑤ $j \leftarrow j + 1$ ⑥ $j \leftarrow j - 1$ ⑦ $\text{Sum} \leftarrow \text{Sum} + 1$ ⑧ $\text{Sum} \leftarrow \text{Sum} + \text{TBL}[j]$
- ⑨ $\text{Sum} \leftarrow \text{Sum} + \text{TBL}[i]$ ⑩ $\text{Sum} \leftarrow \text{Sum} \div \text{TBL}[\text{Cnt}]$

61

- ① $\text{Cnt} \leftarrow i + 1$ ② $\text{Cnt} \leftarrow i - 1$ ③ $\text{Cnt} \leftarrow \text{Cnt} + 1$ ④ $\text{Cnt} \leftarrow \text{Cnt} + 2$
- ⑤ $\text{Cnt} \leftarrow \text{Cnt} + i$ ⑥ $\text{Cnt} \leftarrow \text{Cnt} - i$ ⑦ $\text{Cnt} \leftarrow \text{Cnt} - 1$ ⑧ $\text{Cnt} \leftarrow \text{Cnt} - 2$
- ⑨ $i \leftarrow i + \text{Cnt}$ ⑩ $i \leftarrow i - \text{Cnt}$

62

- ① $\text{Cnt} < i + 1$ ② $\text{Cnt} = i$ ③ $\text{Cnt} < j$ ④ $\text{Cnt} \leq j$ ⑤ $\text{Cnt} = j - 1$
- ⑥ $i < j$ ⑦ $i > \text{Cnt}$ ⑧ $j < i$ ⑨ $j \leq i$ ⑩ $j \leq i + 1$

59 60 61 62 63

【11】神戸市立のある高等学校では、生徒の進路ガイダンスの希望講座について、次のようなリレーショナル型データベースを利用して管理している。次の各問いに答えよ。

[処理の概要]

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

講座表

| 講座コード | 講座名 | 進路コード |
|-------|-------------|-------|
| G01 | 心理学 | S01 |
| G02 | 外国語学 | S01 |
| G03 | 経済学・経営学・商学 | S01 |
| G04 | 工学 | S01 |
| G05 | 体育・スポーツ | S01 |
| G06 | 食物・栄養 | S02 |
| G07 | 保育・幼児教育 | S02 |
| G08 | 理学療法 | S03 |
| G09 | 自動車整備 | S03 |
| G10 | 情報処理・コンピュータ | S03 |
| G11 | 美容・エステ・メイク | S03 |
| G12 | 調理・製菓・製パン | S03 |
| G13 | 保育（専門学校） | S03 |
| G14 | 介護福祉 | S03 |
| G15 | 商業事務・医療事務 | S03 |
| G16 | 公務員 | S04 |
| G17 | 観光・旅行 | S04 |
| G18 | ホテル・ブライダル | S04 |
| G19 | デザイン・美術 | S04 |
| G20 | 音楽・音響・放送 | S04 |
| G21 | 声優 | S04 |
| G22 | 動物 | S04 |
| G23 | 柔道整復 | S04 |

生徒表

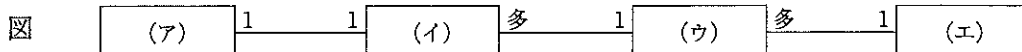
| 学籍コード | 生徒名 |
|-------|-------|
| 1101 | 天野 ○○ |
| 1102 | 石川 ○○ |
| 1103 | 大西 ○○ |
| } | } |
| 3838 | 山本 ○○ |
| 3839 | 吉岡 ○○ |
| 3840 | 吉田 ○○ |

希望表

| 学籍コード | 講座コード |
|-------|-------|
| 2101 | G04 |
| 2102 | G18 |
| 2103 | G01 |
| } | } |
| 2838 | G10 |
| 2839 | G19 |
| 2840 | G04 |

進路種別表

| 進路コード | 進路 |
|-------|-------|
| S01 | 4年制大学 |
| S02 | 短期大学 |
| S03 | 専門学校 |
| S04 | 就職 |



(1) 図の（ア）にあてはまる適切な語句を①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 講座表 ② 生徒表 ③ 進路種別表 ④ 希望表

(2) 図の（イ）にあてはまる適切な語句を①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 講座表 ② 生徒表 ③ 進路種別表 ④ 希望表

(3) 図の名称を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① パート図 ② 特性要因図 ③ E-R図 ④ 管理図 ⑤ 流れ図

(4) 図の（ウ）の属性の数①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① 2 ② 3 ③ 4 ④ 23 ⑤ 40 ⑥ 1000

(5) 図の（ウ）と（エ）のリレーションとなるフィールドを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① 講座コード ② 学籍コード ③ 進路コード ④ 講座名
⑤ 生徒名 ⑥ 進路

| | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| (1) | (2) | (3) | (4) | (5) |
| 64 | 65 | 66 | 67 | 68 |

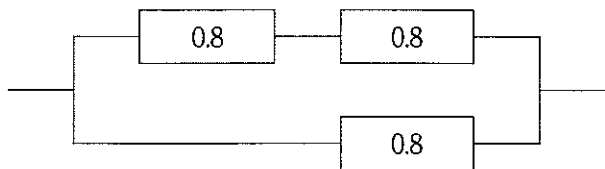
【12】 次の各問いに答えよ。

(1) 次の仕様の通信回線を利用した場合のデータ転送にかかる転送時間（秒）を①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、1GB=10⁹Bとする。

[仕様] 通信速度 80Mbps 転送データ 0.2GB（ギガバイト） 伝送効率 80%

- ① 20秒 ② 25秒 ③ 125秒 ④ 200秒 ⑤ 250秒

(2) 次の並列システムの稼働率を①～⑤から選び、番号で答えよ。



- ① 0.512 ② 0.64 ③ 0.8 ④ 0.928 ⑤ 0.996

(3) 次の条件で、7.68MB（メガバイト）の動画をダウンロードした場合の通信料金を①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、1MB=10⁶Bとする。

[条件] ○データ量：256B（バイト）／パケット

○通信料：0.3円／パケット

○動画データ以外は考慮しない

- ① 768円 ② 900円 ③ 7,000円 ④ 9,000円 ⑤ 90,000円

| | | |
|-----|-----|-----|
| (1) | (2) | (3) |
| 69 | 70 | 71 |

【13】 次の各問いに答えよ。

(1) セル番地C16～C18の値を求めるために利用する適切な関数を①～⑧から選び、番号で答えよ。

C16 = (9,C3:C14)

C17 = (1,C3:C14)

C18 = (4,C3:C14)

著作権保護の観点により、

掲載いたしません。

① COUNTIFS

② DAVERAGE

③ DCOUNT

④ DMAX

⑤ DSUM

⑥ SUBSTITUTE

⑦ SUBTOTAL

⑧ SUMIFS

| | |
|-----|----|
| (1) | 72 |
|-----|----|

(2) セル番地E8の値を求めるために利用する適切な関数を①～⑧から選び、番号で答えよ。

E8 =ROUND ((C8,D3:D12,C3:C12),1)

| | A | B | C | D | E | F |
|----|---|----|-------|----|----|------|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | 1 | 安藤 ○○ | 80 | 81 | |
| 4 | | 2 | 石田 ○○ | 77 | 83 | |
| 5 | | 3 | 上野 ○○ | 70 | 58 | |
| 6 | | 4 | 岡田 ○○ | 63 | 78 | |
| 7 | | 5 | 片山 ○○ | 47 | 55 | |
| 8 | | 6 | 木下 ○○ | 61 | 欠席 | 64.8 |
| 9 | | 7 | 久米 ○○ | 88 | 91 | |
| 10 | | 8 | 近藤 ○○ | 68 | 65 | |
| 11 | | 9 | 佐藤 ○○ | 34 | 41 | |
| 12 | | 10 | 嶋田 ○○ | 95 | 92 | |
| 13 | | | | | | |

- ① ABS ② CEILING ③ FORECAST ④ LEN
 ⑤ MEDIAN ⑥ MODE ⑦ RAND ⑧ SUBSTITUTE

(2) 73

(3) セル番地A6の値を求めるために利用する適切な関数を①～⑧から選び、番号で答えよ。

A6 = (A3,"○○","■■■■")

| | A | B |
|---|---|--------------|
| 1 | | |
| 2 | | 置換前の文字列 |
| 3 | | 神戸市立○○高等学校 |
| 4 | | |
| 5 | | 置換後の文字列 |
| 6 | | 神戸市立■■■■高等学校 |
| 7 | | |

- ① ABS ② CEILING ③ FORECAST ④ LEN
 ⑤ MEDIAN ⑥ MODE ⑦ RAND ⑧ SUBSTITUTE

(3) 74

(4) セル番地B3、C3の値を求めるために利用する最も適切な関数を①～⑧から選び、番号で答えよ。

B3 = (A3,\$A\$9:\$G\$11,2,0)

C3 = (A3,\$A\$9:\$G\$11,3,0)

| | A | B | C | D | E | F | G | H |
|----|---------|------|-----|------|--------|-----|------|---|
| 1 | | | | | 6月2日 | | | |
| 2 | メニューコード | メニュー | 単価 | 販売数量 | 金額 | | | |
| 3 | 2 | 坦々麺 | 300 | 15 | 4,500 | | | |
| 4 | 5 | 親子丼 | 230 | 22 | 5,060 | | | |
| 5 | 1 | ラーメン | 200 | 9 | 1,800 | | | |
| 6 | 4 | カレー | 250 | 38 | 9,500 | | | |
| 7 | | | | 合計 | 20,860 | | | |
| 8 | メニュー一覧表 | | | | | | | |
| 9 | メニューコード | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| 10 | メニュー | ラーメン | 坦々麺 | うどん | カレー | 親子丼 | 日替定食 | |
| 11 | 単価 | 200 | 300 | 180 | 250 | 230 | 500 | |
| 12 | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | |

- ① ABS ② HLOOKUP ③ INDEX ④ LOOKUP
 ⑤ MATCH ⑥ MEDIAN ⑦ SUBSTITUTE ⑧ VLOOKUP

(4) 75